NIPT検査を希望される方へ

横浜労災病院産婦人科では、NIPT　非侵襲性出生前遺伝学的検査を実施しています。
また、当院での検査の流れについては、この説明用紙を確認して下さい。

○対象者

　対象者は、検査を希望される方です。
当院で分娩予定でない方でも、NIPT検査を受けることができます。
その場合にはできるだけ通院中の産婦人科からの紹介状を持参してください。

○対象疾患

　21トリソミー、18トリソミー、13トリソミーです。
性別や微小欠失などは、検査の科学的根拠が確立していないため対象外です。

○検査の流れ

検査を受けるには、月曜日の午後のNIPT遺伝カウンセリング外来の受診が必要です。
検査を受けなくても、NIPTの外来を受診すると１万円の支払いが発生します。
基本的には夫婦お二人で受診して頂きます。

妊娠10～14週位を目安に、NIPT遺伝カウンセリング外来を夫婦お二人で受診していただき、検査を希望する場合にはその日にNIPTの採血をします。
結果が出るのに2週間程度かかります。
NIPTに関する遺伝カウンセリングや検査結果に関するデータは、個人情報を含まない形で出生前検査認証制度等運営委員会に定期的に提供されます。

○結果について

①NIPT陰性の場合
陰性の場合には電話連絡はありません。
結果を聞きに来て頂きます。簡易的な説明でよい場合には、当院での妊婦健診時に結果を聞くことも可能です。

②NIPT陽性もしくは判定保留の場合
陽性もしくは判定保留の場合には電話連絡をします。

陽性の場合には、基幹病院（横浜市立大学附属市民総合医療センターの遺伝子診療科）でカウンセリングを受け、羊水検査などの確定検査を受けるかご夫婦で考えて頂きます。
そのため、市大センター病院の受診希望日を電話でお聞きします。紹介状は、当院から市大センター病院に直接郵送します。

市大センター病院の受診前に当院を受診したい場合には申し出て下さい。
羊水検査などの確定検査は当院でも実施可能です。
その後の妊娠経過に関しては、妊娠の継続・中断に関わらず、当院で対応いたします。

○費用について

費用は遺伝カウンセリングが約1万円、NIPT検査が約9万円です。
つまり、NIPT検査をする場合には、合計で約10万円かかります。

陽性だった場合は、横浜市立大学附属市民総合医療センターの初診料・遺伝カウンセリング料が約17，000円かかります。

当院で羊水検査を受ける場合には、羊水検査の検査費用はNIPT代金に含まれます。しかし、羊水検査のための入院費や手技料などは別途かかります（約11万円）。センター病衣オンで羊水検査を受けた場合も、その支払いは横浜労災病院にしていただきます。
妊娠の中断を選択する場合には、その内容に応じて費用が発生します。

2026.5.15　横浜労災病院産婦人科　NIPT責任者　柊一哉